

平成 30 年度家畜共済の実績（新制度分）（概要）について

家畜共済事業については、平成 29 年の農業災害補償法（現農業保険法）の一部改正により、死亡廃用共済と疾病傷害共済に分離されるなどの制度改正が行われており、平成 30 年度の事業実績には、当該制度改正前の旧制度分（平成 30 年 4 月から 12 月までの間に共済掛金期間が開始したもの）と制度改正後の新制度分（平成 31 年 1 月から 3 月までの間に共済掛金期間が開始したもの）とがあるが、本概要は、このうち、制度改正後の新制度分の事業実績を取りまとめたものである。

1 搾乳牛

(1) 加入実績

加入戸数は 1 千戸、加入頭数は 85 千頭であり、加入頭数の上位 3 県は栃木県（43 千頭）、岩手県（6 千頭）、大分県（4 千頭）となっている。また、共済金額は 22,137 百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった頭数は 1 千頭、共済金支払額は 230 百万円であり、被害率（金額被害率）は 7.029%となっている。また、被害率が高かったのは、大阪府（26.469%）、佐賀県（20.939%）であり、主な病類は循環器病、運動器病であった。

2 育成乳牛

(1) 加入実績

加入戸数は 1 千戸、加入頭数は 35 千頭であり、加入頭数の上位 3 県は栃木県（13 千頭）、岩手県（6 千頭）、宮城県（2 千頭）となっている。また、共済金額は 7,623 百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった頭数は 124 頭、共済金支払額は 13 百万円であり、被害率（金額被害率）は 1.156%となっている。また、被害率が高かったのは、岡山県（18.767%）、香川県（5.450%）であり、主な病類は新生子異常、循環器病であった。

3 繁殖用雌牛

(1) 加入実績

加入戸数は 5 千戸、加入頭数は 74 千頭であり、加入頭数の上位 3 県は鹿児島県（14 千頭）、長崎県（12 千頭）、宮崎県（9 千頭）となっている。また、共済金額は 22,086 百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった頭数は 151 頭、共済金支払額は 34 百万円であり、被害率（金額被害率）は 1.157%となっている。また、被害率が高かったのは、長野県（4.143%）、栃木県（2.789%）であり、主な病類は

循環器病、消化器病であった。

4 育成・肥育牛

(1) 加入実績

加入戸数は6千戸、加入頭数は330千頭であり、加入頭数の上位3県は宮崎県(50千頭)、鹿児島県(42千頭)、長崎県(36千頭)となっている。また、共済金額は100,709百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった頭数は1千頭、共済金支払額は173百万円であり、被害率(金額被害率)は1.185%となっている。また、被害率が高かったのは、栃木県(3.605%)、福岡県(3.395%)であり、主な病類は新生子異常、消化器病であった。

5 繁殖用雌馬

(1) 加入実績

加入戸数は38戸、加入頭数は189頭であり、加入頭数の上位3県は北海道(61頭)、岩手県(46頭)、沖縄県(45頭)となっている。また、共済金額は117百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象はなかった。

6 育成・肥育馬

(1) 加入実績

加入戸数は61戸、加入頭数は299頭であり、加入頭数の上位3県は岩手県(93頭)、宮崎県(71頭)、沖縄県(31頭)となっている。また、共済金額は175百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった頭数は2頭、共済金支払額は1百万円であり、被害率(金額被害率)は2.782%となっている。また、被害があったのは、山形県(37.409%)であり、主な病類は循環器病、運動器病であった。

7 種豚(死亡廃用共済)

(1) 加入実績

加入戸数は125戸、加入頭数は60千頭であり、加入頭数の上位3県は宮崎県(24千頭)、岩手県(9千頭)、長崎県(4千頭)となっている。また、共済金額は3,201百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった頭数は55頭、共済金支払額は2百万円であり、被害率(金額被害率)は0.541%となっている。また、被害率が高かったのは、沖縄県(6.340%)、山形県(3.496%)であり、主な病類は循環器病、妊娠・分娩期及び産後の疾患であった。

8 群単位肉豚

(1) 加入実績

加入頭数は60千頭であり、加入頭数の上位3県は長崎県(26千頭)、愛媛県(13千頭)、宮崎県(9千頭)となっている。また、共済金額は676百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった頭数は1千頭、共済金支払額は13百万円であり、被害率(金額被害率)は9.213%となっている。また、被害率が高かったのは、広島県(20.000%)、福岡県(18.407%)であった。

9 特定肉豚

(1) 加入実績

加入戸数は81戸、加入頭数は337千頭であり、加入頭数の上位3県は宮崎県(133千頭)、岩手県(67千頭)、茨城県(28千頭)となっている。また、共済金額は3,975百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった頭数は2千頭、共済金支払額は18百万円であり、被害率(金額被害率)は3.241%となっている。また、被害率が高かったのは、大分県(26.881%)、神奈川県(24.470%)であった。

10 肉用種雄牛(死亡廃用共済)

(1) 加入実績

加入頭数は29頭であり、加入頭数の上位3県は大分県(14頭)、北海道(3頭)、宮崎県(3頭)となっている。また、共済金額は19百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象はなかった。

11 種雄馬(死亡廃用共済)

(1) 加入実績

加入頭数は60頭であり、北海道(57頭)、長野県(3頭)となっている。また、共済金額は44百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった頭数は1頭、共済金支払額は40万円であり、被害率(金額被害率)は8.034%となっている。また、被害があったのは、北海道(8.101%)であり、主な病類は運動器病であった。

12 乳用牛

(1) 加入実績

加入戸数は1千戸、加入頭数は74千頭であり、加入頭数の上位3県は栃木県(31千頭)、岩手県(10千頭)、福島県(3千頭)となっている。また、共済金額は1,238百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった件数は10千件、共済金支払額は132百万円であり、被害率(金額被害率)は65.708%となっている。また、被害率が高かったのは、大阪府(147.764%)、和歌山県(115.972%)であり、主な病類は消化器病、泌乳器病であった。

13 肉用牛

(1) 加入実績

加入戸数は6千戸、加入頭数は229千頭であり、加入頭数の上位3県は宮崎県(38千頭)、鹿児島県(34千頭)、長崎県(25千頭)となっている。また、共済金額は2,413百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった件数は18千件、共済金支払額は156百万円であり、被害率(金額被害率)は45.187%となっている。また、被害率が高かったのは、北海道(151.450%)、長野県(96.264%)であり、主な病類は呼吸器病、消化器病であった。

14 一般馬

(1) 加入実績

加入戸数は75戸、加入頭数は450頭であり、加入頭数の上位3県は北海道(159頭)、岩手県(91頭)、沖縄県(59頭)となっている。また、共済金額は7百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった件数は27件、共済金支払額は38万円であり、被害率(金額被害率)は32.867%となっている。また、被害率が高かったのは、長野県(207.545%)、山形県(95.437%)であり、主な病類は消化器病、運動器病であった。

15 種豚(疾病傷害共済)

(1) 加入実績

加入戸数は27戸、加入頭数は5千頭であり、加入頭数の上位3県は長崎県(3千頭)、宮崎県(1千頭)、山形県(254頭)となっている。また、共済金額は21百万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった件数は182件、共済金支払額は1百万円であり、被害率(金額被害率)は58.369%となっている。また、被害率が高かったのは、宮城県(180.000%)、長崎県(69.540%)であり、主な病類は呼吸器病、生殖器病であった。

16 肉用種雄牛(疾病傷害共済)

(1) 加入実績

加入頭数は14頭であり、加入頭数の上位2県は北海道(3頭)、宮崎県(3頭)となっている。また、共済金額は34万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった件数は2件、共済金支払額は1万円であり、被害率（金額被害率）は21.120%となっている。また、被害があったのは、宮崎県（72.190%）であり、主な病類は呼吸器病であった。

17 種雄馬（疾病傷害共済）

(1) 加入実績

加入頭数は59頭であり、北海道（56頭）、長野県（3頭）となっている。また、共済金額は30万円となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった件数は2件、共済金支払額は7千円であり、被害率（金額被害率）は3.740%となっている。また、被害があったのは、北海道（3.797%）であり、主な病類は運動器病、外傷不慮その他であった。